

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
バスをつくろう	小	グループ学習 (図画工作)	黒川大輔

<ねらい>

- ・楽しく作る。
- ・はさみで画用紙をたくさん切る。
- ・切った画用紙をのりで貼る。
- ・自分で作った物で遊ぶ。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

作成方法

- ①はさみで短冊状の画用紙を切る。一人で切ることが難しい児童は教師と一緒に切る。
- ②切った画用紙をのりで牛乳パックに貼りつける。のりを貼ることが難しい児童は手を添えて塗る。
- ③自分でタイヤを付けることのできる児童はタイヤを付ける。基本、教師がタイヤを付ける。

使用方法

- ①教室の床やついたてを坂にして、走らせる。

工夫点

- ①1リットルの牛乳パックでは全面に貼ることが難しかったので、大きさの調整をした。
- ②牛乳パックにのりで貼りやすいように中に新聞紙を詰めた。
- ③牛乳パックの絵柄が隠れるように白い紙を全面に貼った。
- ④自分のバスとイメージしやすいように窓に自分の顔が入ったシールを使用した。
- ⑤タイヤにはペットボトルのふたを用い、中に紙粘土を詰めた。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

良かった点

- ①児童が毎日乗っているバスにしたことで気持ちが向けやすかった。
- ②はさみで切ることやのりを塗ることが苦手な児童には一緒に切ったり、手を添えて塗ることで少しずつ自分でできるようになってきた。
- ③タイヤにはペットボトルのふたに竹ひごをさしてストローを中に通しておくことでタイヤが回転しやすくなった。

改善点

・走らせて遊んでいると、タイヤのペットボトルのふたが取れてしまうことが多々あった。紙粘土とふたの接着面を接着剤でしっかり固定してあげないとイケなかった。

<その他(材料、費用、購入先等)>

材料

- ①牛乳パック、新聞紙、白紙
- ②画用紙、はさみ(ばねはさみ含)、のり
- ③運転手や窓などのシール
- ④ペットボトルのふた、紙粘土、竹ひご、ストロー

